



令和8年6月29日

安全安心だより

令和8年度No.2

～日常の「ついで」にできる。「ながら見守り」に御協力ください～

1 はじめに

地域の皆さまへ。

いつも子どもたちの安全を温かく見守っていただき、ありがとうございます。

登下校の時間帯、地域に大人の目があるだけで、子どもたちの安全はぐっと高まります。特別な活動は必要ありません。「パトロール」のような特別な活動ではなく、普段の生活の中で子どもたちを見守る。それが「ながら見守り」です。

近年、登下校の子どもたちの安全を確保するため、特別なパトロールだけでなく、日常生活の中で無理なく行える「ながら見守り」が注目されています。

散歩や買い物など、いつもの生活に「見守り」をプラスしてみませんか。

2 「ながら見守り」って何！

(1) 【誰が】

地域にお住いのすべての人が、それぞれの立場で。



(2) 【いつ】

買い物、散歩、ゴミ出し、庭の手入れ、玄関先の掃除などの時間に。同じ場所や時間帯に行うことで、子どもたちの「いつもと違う様子」や不審な動きに気付きやすくなります。



(3) 【どこで】

通学路、公園、自宅の玄関先やベランダなど様々な場所で。



(4) 【何を】

子どもたちの様子に目を配り、明るい「おはよう」「おかえり」といった「挨拶」をします。



(5) 【なぜ】

「地域の目」を増やし、不審者が近寄れない環境を作るためです。積極的な声かけが子どもに安心感を与えます。



(6) 【方法】

無理せず、自分の生活のリズムに合わせて「ついで」に行います。

3 具体的な活動例

(1) 【動く見守り】

・通勤、買い物のついでに:通勤を兼ねて子どもと一緒に通学路を歩く、スーパーへの行き帰りに、あえて人通りの少ない通学路や裏道を通ってみる。いつものルートを通学路に変えてみる。



・健康づくりのついでに:ウォーキングやジョギングの時間を、子どもが下校する15時～17時頃に合わせて行う。



・ペットの散歩ついでに:いつものコースで、子どもが集まる公園や広場の近くを通る。



(2) 【動かない見守り】

・家事のついでに:庭の水やりや玄関掃除を、子どもが通る時間帯に行う。



・在宅ワークのついでに:時々窓の外を眺めて、様子を確認する。



・お店の窓口や畑仕事中に:通りにかかる子どもたちに、「おかえり」と声をかける。



4 見守りのポイント(安心感を伝える)

(1) 挨拶の力:不審者は顔を見られることを嫌います。「挨拶」が最大の防犯です。子どもたちに「ここは守られている場所」という安心感を与え、何かあった時に助けを求めやすい雰囲気を作ることができます。



(2) 「おかしいな」と思ったら:無理に追いかけて、直ぐに学校や警察(110番)へ。



(3) 無理は禁物。継続が一番:忙しい時はお休みしてOKです。できる時に、できる範囲で長く続けることが一番の貢献です。「ついで」を習慣に、「義務」から「楽しみ」に変えると、継続のハードルが下がります。

無理なく、できる時に、挨拶による見守りをお願いします。

～「子ども安全安心対策推進事業」に関するお問い合わせ先～

松山市教育支援センター事務所(安全・安心担当)

電話:089-943-3205 まで